

6 故障かなと思ったら

現象	考えられる原因	対応
ライトが点灯しない (センサーが反応しない)	電源が正しく供給されていない。 センサーに向かって直進している。 寒いときや雨降りのときで、人がマフラーや傘で覆われている。 夏場など周囲の温度と人体の温度差がたくない。 ゆっくりとした速度で検知エリアに侵入している。	電源コードの接続および電源供給(ブレーカー)を確認する。 設置場所や検知エリア、センサーの角度を調整する。 ※センサーは人の動きによる温度変化を検知するため左記の場合などは検知しにくくなることがあります。
ライトが点灯したまま消えない (センサーが反応し続ける)	周囲が明るい。(夜でも周囲に他の照明がある) 検知エリアがガラスや壁などに遮られている。 本体が正しく設置されていない。	点灯開始照度を「昼」側に調整する。 他の照明器具の明かりが届かない場所へ移動する。 障害物を取り除く。または取付け場所を変更する。 約2.5mの高さに垂直に設置する。
人がいないのに点灯する	電源投入直後のウォームアップ時間中 何らかの物体がセンサーに反応し続け、点灯時間が延長されている。	ウォームアップが終了するまで、エリア外で待機する。 完全に検知エリアの外に出る。 検知エリアを狭い範囲に調整する。 取付け場所を変更する。
瞬間にライトが点灯する	検知エリア内、または周囲に下記のような誤動作をする要因がある。 (例)他の照明器具の明かり、風で揺れる植木や洗濯物、旗など、犬や猫などの動物、エアコンの吹き出し口、ガス給湯器、強い無線ノイズなど	誤動作要因となっているものを検知エリア内から取り除く。
ライトがすぐ消える または点滅を繰り返す	検知エリアが道路にかかるており、通行する自動車や人に反応している 風や車の通行などで、センサーライトを取付けている柱などが振動している。	検知エリアを狭い範囲に調整する。 取付け場所を変更する。
	点灯開始照度の設定が「昼」になっている。	振動の影響を受けない場所に取付け場所を変更する。
	点灯保持時間の設定が「25秒」になっている。	点灯開始照度の設定を「夜」側に調整する。
	点灯保持時間の設定が「5分」になっている。	点灯保持時間の設定を「5分」側に調整する。
	本機の発光方向に光を反射する障害物がある。	光を反射する障害物を取り除く。

7 仕様

品番	ESL-SS401AC
検知方式	赤外線受動式
電源電圧	AC100V 50/60Hz
消費電力	約2.6W (待機時 約0.5W)
使用周囲温度範囲	-20°C~40°C
点灯保持時間	約25秒~約5分間
点灯開始照度	約5lx(夜)~(昼)
耐水性能	IP44(防沫型)/(直接雨のかかる屋外で使用可能)
電源コード長	約1.5m
光源	白色4W LED×1灯(全光束 約145ルーメン)
質量(電源コード含む)	約215g
付属品	取付ネジ2本、コンクリート用スリーブ2本、マスキングカバー1個

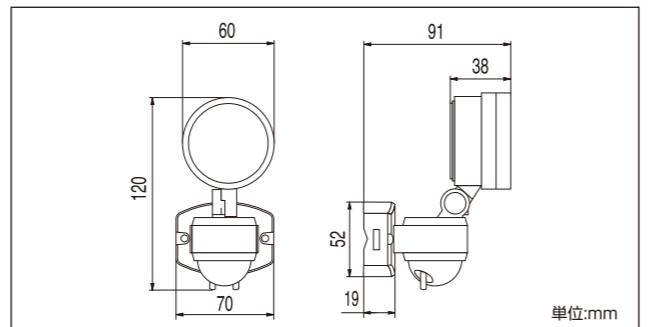
※LEDの交換は出来ません。

※商品の特性上、明るさや光の色にバラつきが出る場合がありますので、ご了承ください。

※万一、当社の製造上の原因による品質不良、不具合が発生した場合は新しい商品とお取替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。

※仕様および外観、外装は予告なしに変更する場合がありますので、ご了承ください。

8 外形寸法図



ELPA
ESL-SS401AC

防雨 4W LED

コンパクト センサーライト

お客様へのお願い

この度は、弊社商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、正しく安全にお使いください。お読みになった後は大切に保管し、必要なときにお読みください。
保証書欄は「お買い上げ日、販売店名」などの記入を必ずお確かめください。

1 安全上のご注意

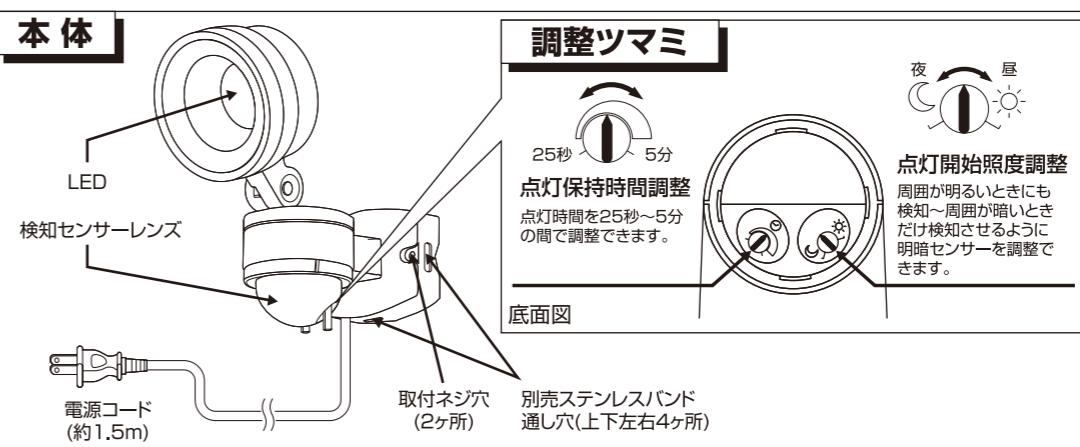
△ 警告

- 取付けはこの取扱説明書に従って確実に行ってください。
- 点灯中や消灯直後は器具に触らないでください。ランプやその周辺が過熱しており、やけどの原因となります。また、人が容易に手を触れることができる2m以下の場所には設置しないでください。
- 燃えやすいものや引火しやすいものの近くには設置しないでください。昼でも本体に布団や洗濯物等がかぶると点灯し引火する恐れがありますのでご注意ください。
- 布や紙など燃えやすいものをかぶせないでください。火災の原因となります。
- 交流100V以外では使用しないでください。過電圧を加えると火災・感電の原因となります。
- 屋外で使用される場合、コンセントは防雨型をご使用ください。コードの延長が必要な場合は、必ず防雨型の延長コードをご使用ください。
- 電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしないでください。
- 火災、感電の原因となります。また、重いものをのせたり、ステップル等で挟み込んだりするとコードが破損する場合がありますのでご注意ください。
- 電源プラグの抜き差しは、コードを持たずに必ず先端プラグ部を持って抜き差してください。電源プラグが破損し、断線やショート、感電、火災、故障の原因となります。
- 感電の恐れがありますので、濡れた手で電源プラグの抜き差しをおこなわないでください。
- 電源プラグは確実に差し込んでください。確実に差し込まれていないと感電や発熱による火災の原因となります。また、傷んだプラグや緩んだコンセント等は使用しないでください。
- 電源プラグを差し込んだままになると、たまたまホコリにより火災に至るおそれがあります。定期的にプラグを抜いて、乾いた布でホコリを取り除いてください。また長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 設置時やお手入れ、点検等の際は必ず電源プラグを抜いてから行ってください。感電事故の原因になります。
- 異常を感じた時は速やかにコンセントから電源プラグを抜いてください。煙が出たり、異臭がしたままの状態で使用すると火災や感電の原因となります。速やかに販売店もしくは当社まで修理をご依頼ください。
- 本機は防雨構造ですので通常の雨や風には耐えますが、大量の水がかかる場所や湿気の多い浴室などでは使用できません。
※防雨構造はIP44電気機械器具の保護等級に適合します。
- 正面から見て本体が地面に対して斜めになったり、逆さまになるような取付けをしないでください。検知機能に異常をきたすうえ、浸水による故障や漏電の原因となります。また万一落下しても事故の起こらない場所に取付けてください。
- 視力を損なう恐れがありますので点灯中のライトを直視しないでください。
- 改造、分解しないでください。また指定用途以外での使用や、指定外の取付部品を使用しないでください。

△ 注意

- 温度の高くなるもの(ガス機器やその排気口、エアコン室外機など)の近くには取付けないでください。
- 本機をベンジンやアルコール、シンナーで拭いたり、殺虫剤を吹きかけないでください。変色、変形、ひび割れの恐れがあるほか、引火、感電の原因となります。
- 不安定な場所に取付けないでください。落下などによるけがや火災の原因となります。取付け後、しっかりと固定されているか必ず確認してください。

2 各部の名称と付属品



付属品

- 取付ネジ(2本)
- コンクリート用スリーブ(2本)
- マスキングカバー(1個)

3 まず初めに

本体の設置をおこなう前に各機能が正しく動作するか動作確認をおこなってください。

① 点灯保持時間を「25秒」に、点灯開始照度を「昼」に設定し電源プラグをコンセントに差し込みます。ウォームアップ(初期安定動作)が開始され約90秒間ランプが点灯します。この間ランプは点灯したままになりますので、検知エリア外に離れてお待ちください。

② 消灯後検知エリアを横切るように歩きランプが点灯することを確認します。続いて検知エリア外に移動すると約25秒後にランプが消灯することを確認します。

③ 点灯保持時間調整ツマミをまわして、点灯時間が長くなることを確認します。続いて点灯開始照度を「夜」側に設定し、周囲が明るい場合に点灯しないことを確認します。

<動作確認完了>

ウォームアップ(初期安定動作)について
電源プラグをコンセントに差し込んだときは、点灯開始照度の設定に関わらず、約90秒間ランプが点灯します。これはセンサーが安定動作するまでの初期動作で、故障ではありません。

4 取付け

取付け上のご注意

*センサーは周囲の明るさと温度変化を検知します。

下図のような場所に取付けると誤動作したり、動作しない場合があります。



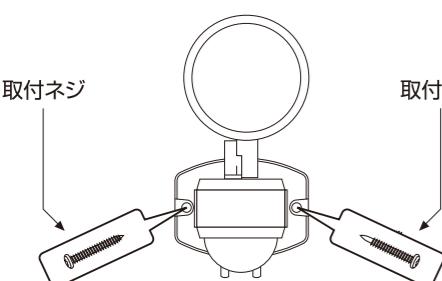
センサーの特性上、以下の点にご注意ください。



本体の取付け方法 △ 万一落下しても事故の起こらない場所に取付けてください。

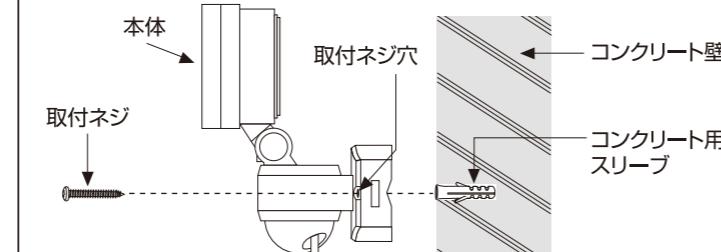
ネジで取付け

付属の取付ネジ(2本)で壁に取付けてください。



コンクリート壁への取付け

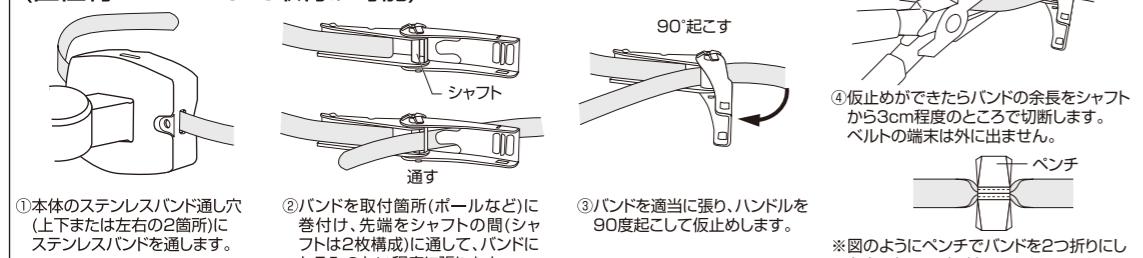
コンクリートの取付ネジ位置にドリルで直径6mm、深さ30mmの穴を開けます。そこへコンクリート用スリーブ(付属)を差し込み、取付ネジで本体を取付けてください。



別売ステンレスバンドによる取付け (弊社型番ESL-SB)

△ステンレスバンドの構造上、一度締め付けるとゆるめる事はできません。
※ケガをする恐れがありますので作業用手袋を必ず着用してください。

(直径約260mmまで取付け可能)



①本体のステンレスバンド通し穴
(上下または左右の2箇所)に
ステンレスバンドを通します。

②バンドを取り箇所(ボールなど)
に巻付け、先端をシャフトの間(シャ
フトは2枚構成)に通して、バンドに
たるみのない程度に張ります。

③バンドを適当に張り、ハンドルを
90度起きて仮止めします。

④仮止めができたらバンドの余長をシャフト
から3cm程度のところで切断します。
ベルトの端末は外に出ません。

⑤ハンドルを反転回復させる(ラッchet
機構なのでバンドを巻取るとベルト
はゆるむことなく十分に締まります。
※締めすぎると⑥の工程でハンドル
が倒せなくなりますので、ご注意
ください。

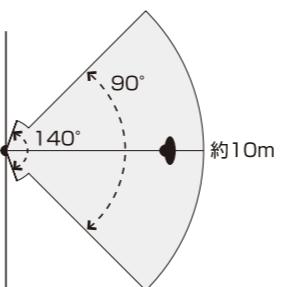
⑥バンドが十分に締まったところ
でハンドルをベースに重なるまで倒
して、ストップバーにかしこんで
完了です。

5 各種調整

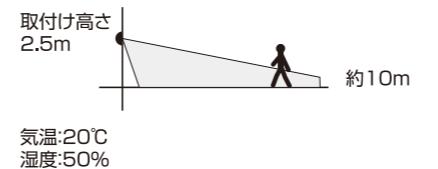
検知エリアについて

検知エリアは目安です。気温、服装、移動速度、侵入方向、体温、器具の設置状態などにより大きく変化します。

【平面図】 検知エリアを上から見た図



【側面図】 検知エリアを横から見た図



*センサーは検知エリア内の温度変化を検知するため、人以外の熱源(動物・車など)も検知します。

*検知エリアの外側でも人より大きな熱源(車など)が移動した場合は検知することができます。

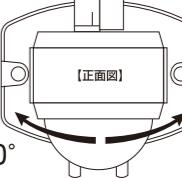
*センサーに向かって正面方向から接近した場合は、検知距離が極端に短くなります。

*検知エリアにゆっくり侵入した場合、検知しなかつたり、検知距離が短くなります。

*夏場など人体表面温度と周辺温度の差が少ない場合は、検知しにくくなります。

*冬場にマフラー、ニット帽などで完全防寒すると肌の露出が少なく、衣服の表面温度と外気温の温度差が少くなり検知しにくくなります。

センサーレンズの検知方向の調節



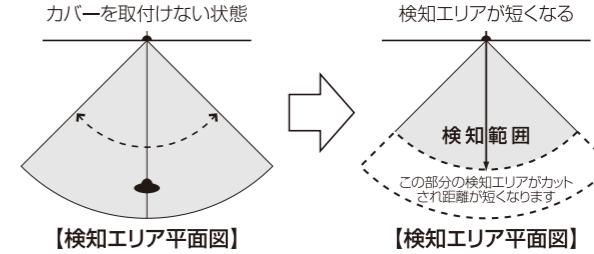
*故障の原因となりますので90°以上回さないでください。

左右各90°

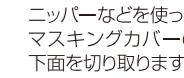
マスキングカバーの使用方法(検知エリアの調節)

センサーの検知エリアを狭くしたい場合は、付属のマスキングカバーで調節してください。マスキングカバーを取付けると、カバーで覆われた部分はセンサーが検知しなくなります。

<例1>検知距離を短くする

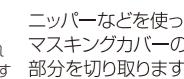
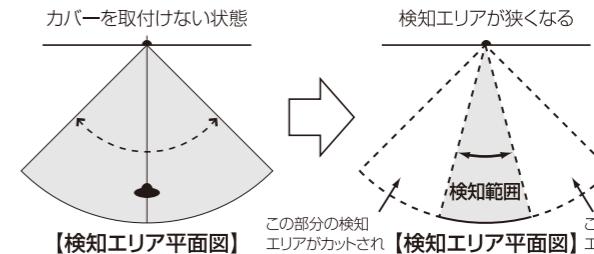


切り取る部分



切り取る部分

<例2>検知角度を狭くする



切り取る部分

■装着方法

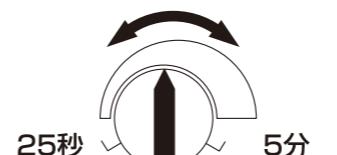


①レンズとマスキングカバーのそれぞれのツメが干渉しないように、マスキングカバーを少しづらして装着します。

②マスキングカバーを回転させ、中央にスライドさせます。

点灯保持時間の設定

センサーが検知しなくなってから消灯するまでの時間を設定できます。



約25秒～約5分の間に設定できます。

*センサー検知エリア内で人や動物が動き続けると、センサーが再検知し点灯時間は延長されます。

*出荷時は約25秒に設定されています。

点灯開始照度の設定

センサーが検知を開始する明るさを設定できます。

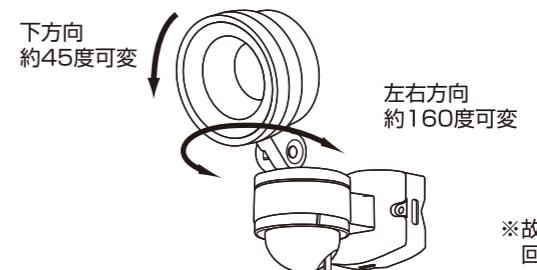


[夜]周囲が暗くなってから点灯します。
昼間などの明るい時間は点灯しません。
[昼]周囲の明るさに関係なくセンサーが検知すると点灯します。

*出荷時は[昼]に設定されています。

照射方向の調整

ライト部と本体を持って上下、左右に照射方向を調整してください。



*故障の原因となりますので左記角度以上に回さないでください。